

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：柔道競技における膝前十字靭帯損傷と術後成績の検討

1. 研究の概要

膝前十字靭帯(Anterior cruciate ligament, 以下 ACL)損傷はアスリートなど活動性の高い方に生じることが多く、将来的な半月板損傷、軟骨損傷、変形性膝関節症の予防のためにも ACL 再建術が行われることが多い病気です。柔道競技における外傷調査では、部位として膝関節、肩関節に多く認め、膝関節では特に多いのが靭帯損傷です。また、中高校生における前十字靭帯損傷の競技別比較においては、発生件数ではバスケットボールやサッカーが柔道と比較して多いが、10万人あたりの発生頻度では柔道はバスケットボールやサッカーよりも多いと報告されています。

ただし、柔道競技における前十字靭帯損傷の疫学調査に関する報告は少なく、競技に特化した予防プログラムがないのが現状です。そこで、本研究では、柔道競技における前十字靭帯損傷予防プロトコルを考慮するにあたり、前十字靭帯再建術後の成績を検討することを目的に実施します。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 亀井 直輔

2. 目的

本研究の目的は、柔道競技における膝前十字靭帯損傷および前十字靭帯再建症例において手術後の成績を検討することです。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2026 年 9 月 30 日まで

4. 対象者

2005 年 1 月 1 日～2025 年 1 月 31 日の期間に宮崎大学医学部附属病院整形外科において柔道を契機に膝 ACL 損傷をきたし当科で手術を施行した方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、手術時年齢などの基本情報、手術時の情報、レントゲンやMRIの検査結果、アンケートによるスコアを利用させていただき、これらの情報をもとに柔道協議における ACL 損傷の特徴を検討し、軟骨損傷リスクを検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院整形外科

氏名：森田雄大

電話：0985-85-0986

FAX：0985-84-2931